

SEINAN CHANTEURS

2013

平成25年度福岡市民芸術祭参加



2013年11月2日(土) 14:00開演
アクロス福岡シンフォニーホール

主催/西南シャントゥール 共催/西南学院大学同窓会、西南学院グリークラブOB会
後援/(公財)福岡市文化芸術振興財団・福岡市・福岡市教育委員会・福岡音楽団体連絡会・福岡県合唱連盟・西日本新聞社



「2012定期演奏会」より



西南シャントゥール
会長／的野 恒一

本日は、私共 西南シャントゥールの「第36回定期演奏会」にご来場賜り厚く御礼申し上げます。

今年も異常高温、風水害と災害の多い年となりました。被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。そして、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本日の第Ⅰステージは、ケルビーニの「レクイエム；二短調」から2曲を選びました。若き日のケルビーニがオペラ創作に専念していたことを伺い知ることが出来るドラマティックな2曲です。被災された方々を少しでもお慰めできればと思います。

第Ⅱステージは今回で二度目の出演となる「NHK福岡児童合唱団MIRAI」です。指揮者の大庭先生には、この8月下旬、大阪で開催された「第36回全日本おかあさんコーラス全国大会」に現在指揮をされておられる二つの女声合唱団を率いて九州代表として出場される等、大変お忙しい中ご出演を頂き改めて感謝申し上げます。MIRAIの子ども達の澄んだ美しい声で歌う「野口雨情の詩のメドレー」が楽しみです。そしてシャントゥールとのコラボレーションも用意しておりますのでお楽しみに。

第Ⅲステージは、組曲「旅」です。良く知られた組曲ですが、シャントゥールとしては初挑戦になります。「旅」は“人生の歩み”に重ねて語られている処が多くありますが、人生の後半を旅する我々メンバーにとりましても、この「旅」の歌が、再度、背中を押してくれるような気がしております。

最後の第Ⅳステージは、シャントゥールの持ち歌の中から「ロバート・ショウ男声合唱曲」です。久し振りに歌いますが、グリークラブOB有志と現役グリーの参加もあり賑やかなステージになりそうです。ご期待ください。

最後になりましたが、本演奏会にご協賛下さいました企業各社、並びにご後援を賜りました関係各位に深く感謝申し上げます。



西南学院グリークラブOB会
会長／河野 正海

本日はお忙しい中、西南シャントゥール第36回定期演奏会にご来場いただき有難うございます。今年の演奏会は昨年の構成とは趣きを変え、男声合唱の持つ幅広い特性を十分にお楽しみいただけるものと存じます。

西南学院グリークラブのOB合唱団としてのシャントゥールは、これ迄OB合唱団故の悩みや、社会人合唱団が抱える課題を豊富な練習量で乗り越え、永きに亘り皆様方のご支援のもとに活動を続けて参りました。

ここ数年はシャントゥールのメンバー以外のグリーOBにも定期演奏会へのオープン参加の道を開き、「歌う場」を設けることによりOB会の絆の強化に大きな貢献を果たしています。

一方現役の西南学院グリークラブも平成20年の再興以来5年が経過しましたが、部員の増強や演奏技量の向上等未だ再建の過程にあり、一日も早く嘗ての西南グリーに劣らない合唱をご披露できるよう鋭意努力中です。本年はその成果を復活第3回目の定期演奏会として、12月20日に西南コミュニティーセンターにて開催いたします。

どうか今後ともグリークラブとシャントゥールに暖かいご声援を賜りますようにお願い申し上げます。



[I 部]

yell : **Hail, Seinan**

作詞/Alma O'Norean Graves・作曲/多田武彦

I. レクイエム 二短調

- **Introitus und Kyrie**
入祭唱とあわれみの讃歌
- **Dies irae**
続唱「怒りの日」

作曲/ Luigi Cherubini
伴奏編曲/ 藤森 数彦指揮: 徳永 和彦
オルガン: 古賀 智子
ピアノ: 植村 和彦**II. 《贊助》
NHK福岡児童合唱団 MIRAI**「女声(同声)合唱のための三つのメドレー」より
『雨情幻想』

- 僕はごろごろ～黄金虫(こがねむし)
～赤い靴～青い眼の人形～しゃばん玉
～波浮の港～七つの子～僕はごろごろ

指揮: 大庭 尋子
ピアノ: 武末 陽子作詞/ 野口 雨情
作曲/ 本居 長世
中山 晋平
編曲/ 寺島 尚彦「同声三部合唱とピアノのために
ユウキノウタ」より

- 僕のドラゴン

作詩/ みなづきみのり
作曲/ 松下 耕**《合同演奏》**

- とてもシャン！ きもちシャン！

作詞/ 大谷 恵美 作曲/ 宮川 彰良

- 花は咲く

作詞/ 岩井 俊二 作曲/ 菅野よう子 編曲/ 朝川 朋之

— 休憩 —



[II 部]

III. 男声合唱のための組曲『旅』作詩/ 山之井 慎
田中 清光
作曲/ 佐藤 真指揮: 佐藤 棟也
ピアノ: 植村 和彦
朗読: こはま もとこ

- 旅立つ日
- 村の小径で
- 旅のよろこび
- なぎさ歩めば
- かごにのって
- 旅のあとに
- 行こうふたたび

IV. ロバート・ショウ男声合唱曲集

編曲/ Alice Parker・Robert Shaw

指揮: 徳永 和彦

- | | | |
|--|-------------------|--------------------|
| ● Down By the Sally Gardens | W.B.Yeats | Irish Traditional |
| ● Drink to Me Only with Thine Eyes | Ben Jonson | Old English Air |
| ● Turn Ye To Me | | Scotch Folk Song |
| ● Seeing Nellie Home | Frances Kyle | J.Fletcher |
| ● Love's Old Sweet Song | G.Clifton Bingham | James Lyman Molloy |
| ● Marianina | | Italian Folk Song |
| ● Stodolé Pumpana - Walking at Night - | | Czech Traditional |

I Requiem D-moll

Luigi Cherubini

ケルビーニと「レクイエム」

ケルビーニは1760年、イタリアのフィレンツェに生まれる。ハープシコード奏者の父に7歳の時から音楽の手ほどきを受け、幼くして才能が認められる。当時のイタリア・トスカナ大公の援助のもと、大作曲家サルティにポリホニーの対位法を学び、13歳でミサ曲、14歳でカンタータ、20歳でオペラを作曲。24歳で故郷を離れ、1784年から2年間ロンドン滞在を経て、1788年パリに移住。フランス大革命前夜のパリで、マリー・アントワネットの知己を得、オペラ作曲家としての名声を獲得。生涯で25曲のオペラを作曲する。1802年にはウイーンでこのオペラ作品の連続演奏会が行われるなど、オペラ作曲家としての絶頂期を迎えるが、皇帝ナポレオンが彼に対して嫌悪感を示した為、パリでのオペラ演奏がされなくなり、作曲の中心をやむなく教会音楽に置くようになった。生涯で15のミサ曲と2曲のレクイエム、他に数多くのオラトリオ、カンタータ等、宗教曲を作曲する。

2曲のレクイエム「死者のためのミサ曲」のうち、ひとつは「ハ短調(混声合唱版)で、ベートーベンの葬儀で演奏されたことが知られている。もうひとつのレクイエム、「二短調(男声合唱版)」はケルビーニ自身の葬儀の為に作曲されたと言われていて、1842年、82歳での死去の際、彼の希望通り葬儀ミサの中で演奏された。本日シャントワールはこの「二短調」のレクイエムから2曲を選んで演奏致します。

この「二短調レクイエム」原曲は、本来は小編成のオーケストラ伴奏にて演奏されるものですが、現在はオルガンやピアノ伴奏による普及版に幅広く演奏されています。

本日は藤森数彦氏のご協力を得て、オルガンとピアノ伴奏にて演奏致しますが、全曲をオーケストラ伴奏で演奏できる日が訪れる事を願っています。

◆ *Introitus et Kyrie* 「入祭唱」と「憐れみの讃歌」

入祭唱はミサの始まりに歌われ、最初に歌われる歌詞が「レクイエム」(安息を)、続いて詩篇64章2~3節「神よ、シオンにおいて讃美は御身に捧げられ…」が讃えられ、再び「レクイエム」に戻る。

キリエ「憐れみの讃歌」は、「キリエ・エレイソン」(主よ憐れみたまえ)、「クリステ・エレイソン」(キリストよ憐れみたまえ)、「キリエ……」と三唱される。

◆ *Dies Irae* 「怒りの日」

怒りの日(ディーエス・イレ、*Dies Irae*)とは、キリスト教における世界の終末において、キリストが過去の人を含め人間を地上に復活させ、神が最後の審判を行い、天国に住まわせ永遠の命を授かる者と、地獄で永劫の責め苦を加えられる者とに選別するという思想における、最後の審判が行われる日。

詩は、「怒りの日」「奇しきラッパの響き」「恐るべき威光の王」「思い出したまえ」「呪われたもの」「涙の日」の6つの部分より構成され、曲もそれにより「最後の審判の恐怖と救済を求める祈り」がドラマチックに展開され、オペラを思わせるレクイエムの中心をなす曲である。

曲は、上昇するパッセジに導かれ、「ディーエス・イレ」と激しく唱える後、ただちに静かな部分に移り、再び劇的な「最後の審判」の到来と「救済」が叫ばれる。「慈悲深きイエスよ」からは声を抑えたメッザボーケにより、しのびやかに歌われ、やがて激しくプレストの「呪われし者は」の部分で神の恐ろしい響きのうちに「祝福された者たちと共に私を招いて下さい」と美しいア・カペラへと展開する。続いて「私は灰のように碎かれた心で、平伏して懇願します」と曲はスフォルツアンドであえぐように歌われた後、レクイエムで最も印象的な「涙の日」から「優しきイエズス」そして「アーメン」へと終える。

(指揮者／徳永和彦)

Requiem

入祭唱 (INTROITUS)

Requiem aeternam dona eis, Domine:
et lux perpetua luceat eis.
Te decet hymnus, Deus, in Sion,
et tibi reddetur votum in Jerusalem:
Exaudi orationem meam,
ad te omnis caro veniet.
Requiem aeternam dona eis, Domine:
et lux perpetua luceat eis.

主よ、永遠の安息を彼らに与え、
絶えざる光で照らしください。
神よ、シオンではあなたに賛歌が捧げられ、
エルサレムでは誓いが果たされます。
私の祈りを聞き届けください
すべての肉体はあなたの元に返ることでしょう。
主よ、永遠の安息を彼らに与え、
絶えざる光で照らしください。

キリエ (KYRIE)

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

主よ、あわれみたまえ。
キリストよ、あわれみたまえ。
主よ、あわれみたまえ

続唱 (SEQUENTIA)

怒りの日 (Dies irae)
Dies irae, dies illa,
solvet saecula in favilla:
teste David cum Sibylla.
Quantus tremor est futurus,
quando judex est venturus,
cuncta stricte discussurus!

奇しきラッパの響き (Tuba mirum)
Tuba mirum spargens sonum,
per sepulchra regionum,
coget omnes ante thronum.

Mors stupebit et natura,
cum resurget creatura,
judicanti responsura.
Liber scriptus proferetur,
in quo totum continetur,
unde mundus judicetur.
Judex ergo cum sedebit,
quidquid latet, apparebit:
Nil inultum remanebit.
Quid sum miser tunc dicturus?
Quem patronum rogaturus?
Cum vix justus sit securus.

恐るべき威光の王 (Rex tremenda)

Rex tremenda majestatis,
qui salvandos salvas gratis,
salva me, fons pietatis.

救われるべき者を無償で救われる
恐るべき威光の王よ、
慈悲の泉よ、私をお救いください。

思い出したまえ (Recordare)

Recordare Jesu pie,
quod sum causa tuae viae;
ne me perdas illa die.
Quaerens me, sedisti lassus:
Redemisti crucem passus:
Tantus labor non sit cassus.
Juste judex ultiōnis,
donum fac remissionis;
ante diem rationis.
Ingemisco, tamquam reus,
culpa rubet vultus meus:
supplicanti parce Deus.
Qui Mariam absolvisti,
et latronem exaudisti,
mihi quoque spem dedisti.
Preces meae non sunt dignae;
Sed tu bonus fac benigne,
Ne perenni cremer igne.
Inter oves locum praesta,
et ab haedis me sequestra,
statuens in parte dextra.

思い出してください、慈悲深きイエスよ
あなたの来臨は私たちのためであるということを
その日に私を滅ぼさないでください。
私を探してあなたは疲れ、腰をおろされた
十字架を堪え忍び、救いをもたらされた
これほどの苦しみが無駄になりませんように。
裁きをもたらす正しき審判者よ
裁きの日の前に
ゆるしの恩寵をお与えください。
私は罪人のように嘆き
罪を恥じて顔を赤らめます
神よ、許しを請う者に慈悲をお与えください。
(マグダラの)マリアを許し
盗賊の願いをもお聞き入れになった主は
私にも希望を与えられました。
私の祈りは価値のないものですが、
優しく寛大してください。
私が永遠の炎に焼かれないように。
私に羊の群れの中に席を与え
牡山羊から遠ざけ
あなたの右側においてください。

呪われた者 (Confutatis)

Confutatis maledictis,
flammis acribus addictis,
voca me cum benedictis.
Oro supplex et acclinis,
cor contritum quasi cinis:
gere curam mei finis.

呪われた者たちが退けられ、
激しい炎に飲みこまれる時、
祝福された者たちとともに私をお呼びください。
私は灰のように碎かれた心で、
ひざまずき、ひれ伏して懇願します。
終末の時をおはからいください。

涙の日 (Lacrimosa)

Lacrimosa dies illa,
qua resurget ex favilla
judicandus homo reus;
Huic ergo parce Deus.
pie Jesu Domine,
Dona eis requiem. Amen.

涙の日、その日は
罪ある者が裁きを受けるために
灰の中からよみがえる日です。
神よ、この者をお許しください。
慈悲深き主、イエスよ
彼らに安息をお与えください。 アーメン。

II 《賛助出演》NHK福岡児童合唱団 MIRAI

西南シャントゥールの第36回定期演奏会、おめでとうございます。

アクロス福岡シンフォニーホールを毎年満席にし、その演奏で合唱ファンを魅了し続ける皆様に、尊敬と畏敬の念を抱かずにはおられません。

今回、NHK福岡児童合唱団MIRAIに再度お声をかけていただき本当に有難うございます。

前回子どもたちと一緒に、童心に帰って歌っていた姿を懐かしく思い出しております。合唱を始めてまだ日が浅い子どもたちと、合唱を始めてほぼ半世紀？（それ以上の方々もいらっしゃるでしょうね）のオジサマ方が手を取り、声高らかに歌いあう姿は微笑ましく、その歌声は温かく楽しいものでした。

今回MIRAIは、野口雨情作詞の歌いつがれていくべき「日本の童謡メドレー」を前半に歌わせていただきます。古き良き日本の風景や想いに溢れています。聴いていただく皆様も心の中で一緒に口ずさんでいただければ幸いです。

2曲目は「僕のドラゴン」。いつも何かに怯え、なかなか一步を踏み出せない「僕」の心の中に潜むドラゴン。いつも「僕」を支え、励まし、勇気を与えてくれるユウキの味方。そんなドラゴンと一緒に成長していく「僕」を応援しながらお聴きください。

そしてシャントゥールの皆様との共演。1曲目は「とてもシャン！きもちシャン！」。この「シャン！」は手拍子の「シャン」と気持ちの「シャン」を表しているのですが、勿論シャントゥールの「シャン！」でもあります。（私の勝手な解釈ではありますが…）どんな「シャン！」になるでしょうか。

最後は復興支援ソング「花は咲く」です。子どもたちとオジサマ方が心を一つに歌います。「絆」「つなぐ」、盛んに言われたこの言葉は、今日の演奏会にふさわしいテーマであるように思います。

最後にこの機会を与えていただきましたことに感謝し、西南シャントゥールの益々のご発展を心よりお祈りいたします。

（指揮者／大庭尋子）



指揮／大庭尋子 *Ooba Hiroko*

福岡高校、福岡教育大学、東京芸術大学声楽科卒業。声楽を北里由布子、福嶋敬晃、中村浩子、坂本博士各氏に師事。芸大卒業後、声楽家 坂本博士 の事務所に所属し、クラシックからシャンソン、カンツォーネ、ミュージカル、子どもの歌まで幅広い活動をする。東京都の春休み音楽フェスティバルにも6年連続で出演。1990年にはウィーンで行われた日奥親善交流コンサートにソリストとして参加。好評を博す。

1993年に帰福。西南学院グリークラブや混声合唱団トニカの演奏会にソリストとして参加。2年連続して九州サマーフェスティバルに出演。各地の小学校やチャリティコンサートなどの演奏活動と共に、合唱指導者としても意欲的に活動し、1999年にはアクロス福岡開館5周年記念合唱団の指導にもあたる。

2012年にはウィーン楽友協会ホールにて演奏する。2013年、全日本おかあさんコーラス全国大会にて、指導するグリーンヒルコール、フラウエンコール南が出場。最高賞のひまわり賞、選考委員奨励賞を受ける。

ジュニアコーラスフェスティバルでは講師賞受賞。

現在NHK文化サークル講師、福岡雙葉高校非常勤講師。NHK福岡児童合唱団MIRAI、女声合唱団グリーンヒルコール、フラウエンコール南、コールチュリバンの指導者として活躍中。福岡県合唱連盟福岡支部理事。



ピアノ／武末陽子 *Takesue Youko*

福岡女学院高等学校音楽科卒業。桐朋学園大学音楽学部卒業。
第42回西日本出身新人紹介演奏会にて審査員奨励賞受賞。

これまでに高島真子、安井耕一、奈良場恒美の各氏に師事。

現在、福岡室内楽協会会員。

また、フラウエンコール南の伴奏や後進の指導者として活躍中。

NHK福岡児童合唱団 MIRAI

「私たちには歌がある！ 私たちには愛がある！ 私たちにはMIRAIがある !!!」
これが私たちの合言葉です。

NHK福岡放送局開局75周年記念事業として平成17年に発足し、今年で9年目を迎えた。小学生から高校生まで160名で活動しています。

毎年、どんたくステージや福岡県合唱祭に出演し、地域のみなさまに歌声を楽しんでいただいている。

また、2010年に「こどもコーラスフェスティバル in ひろしま」、2013年には「こどもコーラスフェスティバル（東京）」に参加し、多くの方々と交流をもちました。

今回は、小学2～6年生までのジュニア科で参加しています。

西南シャントゥールのみなさんと歌えるのを楽しみに、週1回の練習を大切にしてきました。心をこめて歌声をお届けします。

小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年
泉 はるひ 岩橋 美生子 大野 奏 川村 菜桜 行徳 優希 田川 輝 城 佐和奈 松岡 あいら 松岡 ゆら 三野原 彩夏 村中 香乃子 森 春太郎 森 水蓮 森 星蘭 山下 流石	明島 未美 伊多倉 亜依 蒲原 愛 熊野 美咲 柴田 和志 芝田 咲歩 滝谷 明日香 世利 美咲希 田中 小春 平田 詩音 前田 康輔 松尾 紗希 水本 美登里 安永 史門 山崎 美羽	安藤 彩姫 石黒 胡春 泉 彩夏 井上 晴陽 片原 友貴 金澤 直輝 久家 桜子 久保 芽生 信田 將 豊澤 杏理 中須賀 花 新居 美結 吉田 日向子 町田 朱嶺	明島 かのん 荒木 優葵子 池田 莉采 大久保 瑠乃 川島 宗大 川村 奈由太 行徳 香澄 久原 実柚 信田 將 豊澤 杏理 中須賀 花 新居 美結 吉田 日向子 町田 朱嶺	有吉 琴美 小西 麗那 作間 華奈 渋谷 英生 中富 主歩 長野 いづみ 西山 萌香 橋本 治希 馬場 くるみ 平川 萩汰 宮川 セレ 山下 千晶



III 男声合唱のための組曲 「旅」

本日は、合唱を愛する人達に広く歌われ続けている、佐藤 真作曲の合唱組曲「旅」をお届け致します。「旅」は1962年に混声合唱組曲として発表されました。その後、女声合唱に編曲され、1999年には組曲全7曲の内3曲が男声合唱に編曲され、佐藤 真自らの指揮で初演されました。2003年に男声合唱版全曲(第1刷)が出版されています(2005年改訂)。詩は山之井 慎と田中 清光が作詩し、当時20代だった佐藤と3人で、田中が在住していた長野県上田市で、夜の更けるのも忘れて、若い情熱をぶつけ合い、詩や音楽について議論し合いながら作られた曲です。

「旅」という言葉から皆様は何を連想されるでしょうか。「希望」「夢」「思い出」「決断」「喜び」「反省」「あこがれ」等、いろんな想いが湧いてきます。それは、真理を探し求める姿ではないでしょうか。この曲に対し、佐藤はシャルル・ボードレールの詩集「悪の華」の中の最後の詩「旅」から『まことの旅人は 出発するために 旅に出る』という一句を引用しています。

本日は、FM福岡のアナウンサーの こはまもとこ さんに山之井 慎作詞の語りを朗読して頂き、「旅」へのさまざまな想いを皆様にお届けできるよう心を込めて歌います。

● 旅立つ日 (作詩／田中 清光)

♪“行け 旅に いまこそ！ 憧れに になられて……”
強い決意で、旅の喜び、希望を歌う

● 村の小径で (作詩／山之井 慎)

♪“村のじさまが語ってくれた いろりパチパチ 昔のはなし……”
旅人に対する優しさ、あたたかさにあふれた曲

● 旅のよろこび (作詩／山之井 慎)

♪“飛んでる飛んでる 飛んでる雲が みどり山脈 わたって飛ぶぞ……”
「青空」に、「黒潮」に、「明日」に心をゆだね、旅の喜びに、包まれた曲

● なぎさ歩めば (作詩／山之井 慎)

♪“なぎさ歩めば きこゆるは 遠き汐鳴り
せつなも 胸をうつ 遠く過ぎし日……”
若者の甘き憂い、ほとばしる宴の高鳴る気持が、
果てしなき夏の思い出として心にあふれる

● かごにのって (作詩／田中 清光)

♪“えーいッホ えーいッホ かごがゆれてく そば咲く道……”
旅する躍動感、旅の楽しさに、思わず体が弾むような曲

● 旅のあとに (作詩／田中 清光)

♪“疲れきって わびしいはたごに 足を 投げだす……”
絶望、挫折、退潮におそれ、「旅の終わり」に包まれた旅人の姿

● 行こう ふたたび (作詩／田中 清光)

♪“語ろう 美しい旅の日を 想い出は あまく かなしく……”
旅人は再び燃え立つ希望に包まれ、明るく輝く未来を開き
もはや何の迷いもなく、「行こう、美しい旅に」と旅立つ

(指揮者／佐藤棟也)

IV Robert Shaw Choral Album

「ロバート・ショウ アルバム」より、世界の民謡の中から『愛の調べ』を選曲。ロバート・ショウは、1916年カリフォルニアに生まれ、音楽的才能にめぐまれ、21歳の時、当時ラジオの人気合唱団の指揮者フレッド・ウォーリングに認められてニューヨークに招かれる。その後1948年、32人のプロフェッショナルな歌手を集めて「ロバート・ショウ合唱団」を結成する。彼は指揮者として有名であるが、同時に数々の優れた合唱曲の編曲者としても広く知られている。アリス・パーカーとともに編曲した彼の曲は少ない音でその曲の特性を表現したものが多く、無駄な音を一切省いた四声部から成るのが特徴で、平明だが瀟洒で透明感溢れるハーモニーは日本人にも大変好まれ、多くの男声合唱団で演奏されている。男声合唱団にとっては今や欠くことのできないレパートリーであり、私共も現役グリークラブ時代に好んで歌った合唱曲の一つです。本日はこの「ロバート・ショウ男声合唱曲」を歌わんと、東京から駆けつけた9人のOBに、福岡在住のOBと現役(西南学院グリークラブ)も加わり、総勢78名の大合唱で演奏します。どうぞお楽しみください。

● Down By the Sally Gardens (柳の園のほとりで)

〈アイルランド民謡〉

アイルランドの詩人ウィリアム・バトラー・イエーツ(1865-1939)の詩。作曲者は不詳。古く伝わるアイルランド民謡に合わせて作られた。

“柳の園のほとりで恋人に会った。彼女は園を歩み「わたしと恋をしましょう。木の葉が緑で梢をかざるように、気楽に自然なかたちで」だが、わたしはまだその時若く、おろかにもそれを受け入れなかつた、いま、振り返り涙する”

● Drink to Me Only with Thine Eyes (君の瞳で乾杯を) 〈オールド イングランド民謡〉

詩は、ベン・ジョンソン、曲は1780年頃に付けら出版された。
『君の瞳で乾杯を』は、報われない愛に必死に取り組んで歌う愛の歌。恋人はカップの範囲内でキスを求める。そして、それを神の甘露より甘いと宣言する。

● Turn Ye To Me (私に頼っておいで)

〈スコットランド民謡〉

古いスコットランドの水夫の歌。水夫の歌は、「特に重労働の時に唄われる」という風に説明されているが、労働歌のほかに船上で、あるいは港で、暫く離れている彼女(Mhai-ri-dhu：“Mary dear”)を思い、“海鳥に頼っておいで”と唄う恋心の唄。

● Seeing Nellie Home (ネリーの家路)

出版は1859年。ネリーさんが行ったのはダイナおばさんのキルティングパーティ(キルティング刺繍会)。当時の田舎にはぎまたった娯楽場や社交場など無かったので、青年もこういった機会は貴重だったのでしょう。彼女を送って行く間に、恋が芽生えた?のでしようか。

● Love's Old Sweet Song (懐かしき愛の歌)

〈イギリス民謡〉

アイルランド出身の作曲家、弁護士J.モロイが無名の詩人ヒンガムの詩に作曲。
甘く哀しみのあるノスタルジックな雰囲気の歌曲であり、英米の家庭で親しまれている曲。
英国で楽譜が出版されるやいなや、またたく間にアメリカ中に知れ渡ったという。
「人生も終わりに近づいた老人が、若き日の恋人の思い出に毎晩ひたる……」

● Marianina (マリアーニナ)

〈イタリヤ民謡〉

イタリヤ、ナポリの古い民謡。デーヴィッド・ステイヴァンズの詩。
まだ、恋心を打ち明けていない恋人のマリアーニナに「いつまでも私の心を悩ませないで」と唄う青年の恋の歌。

● Stodolé Pumpa (ストドラ ポンパ)

〈チェコ民謡〉

ストドラ ポンパの意味は? チェコ語で「納屋の井戸」とか「古い井戸」を意味する。
チェコの農場で一人の農夫が農園に水を入れるために一生懸命にポンプを押して、水をくみ上げる作業をしているが、だんだん疲れ果てて夢うつとなり、昨晩、彼女とダンスした事、楽しい話をしながら帰った事など思い出している。と、その時「ヘイ！」とお尻を思い切り叩かれ正気に戻る。
そこには親方が立っていた。「手を休めるな、ポンプを押さないか！」「はい！」「ストドラ ストドラ ストドラポンパ」このストドラ・ポンパとは、「オッショイ、オッショイ」とか「ヨイショ、ヨイショ」のような掛け声、囃子(はやし)言葉の一種。

(指揮者／徳永和彦)

指揮／徳永和彦 *Tokunaga Kazuhiko*

福岡高等学校在学中合唱部に所属、指揮を担当。
1961年西南学院大学商学部卒業。
在学中、西南学院グリークラブ創立40周年記念演奏会にて学生指揮を担当。
1997年、西南シャントゥール委嘱作品、多田武彦作曲：男声合唱組曲「三崎のうた・第二」を初演。1996年より西南シャントゥール指揮者。

指揮／佐藤棟也 *Satoh Tohya*

福岡高等学校在学中合唱部に所属。
1970年西南学院大学文学部フランス語専攻卒業。
在学中、西南学院グリークラブ創立50周年記念演奏会、東京・大阪記念演奏会にて学生指揮担当。創立50周年記念委嘱作品「清水脩作曲木下夕爾の三つの歌」を初演。卒業後、石丸寛氏の東京フィルハーモニックソサイアティ他各合唱団で合唱活動。現在、福岡音楽団体連絡会副会長。2006年より西南シャントゥール指揮者。

ピアノ／植村和彦 *Uemura Kazuhiko*

福岡教育大学教育学部中等教育教員養成課程音楽専攻卒業。同大学院教育学研究科音楽教育専攻演奏学講座(ピアノ)修了。
ピアノを片山由紀、倉員由紀子、福田ひろみ、福田伸光の各氏に師事。
在学中より、アンサンブルピアニストとして数多くの演奏会に出演し、多くの声楽家や管弦楽器奏者、合唱団と共に演じてきている。また、アウトリーチ事業や文化庁芸術家派遣事業による学校訪問コンサートや男女共同参画をすすめる会主催による演奏会企画、保育園や福祉施設、デイホスピス等での訪問コンサートなど、九州内外において多様な演奏活動を行っている。
第43回、第45回、第47回北九州芸術祭において伴奏賞受賞。九響合唱団、西南シャントゥール、修猶館月一合唱団ピアニスト。「福岡フルート・レ・フルール」ピアニスト。
西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」ピアニスト。
西南女学院大学短期大学部講師。九州女子短期大学非常勤講師。

オルガン／古賀智子 *Koga Tomoko*

福岡女学院高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科(オルガン専攻)卒業。
大学在学中、オルガン及び通奏低音を廣野嗣雄氏、アンサンブルを今井奈緒子氏に師事。卒業後、鈴木雅明氏、大塚直哉氏のもとで研鑽を積む。
現在は福岡女学院でオルガニスト、高等学校音楽科非常勤講師、生涯学習センター講師を、福岡城南教会にてオルガニストを務める。

朗読／こはま もとこ *Kohama Motoko*

エフエム福岡アナウンサー
熊本大学文学部卒業後、NHK熊本放送局キャスターを経てエフエム福岡入社。
「モーニングジャム」「リ・フォーク」等の番組を担当している。
趣味は合唱。現在も社会人合唱団に所属。

出 演 者 (卒業年次順)

1st Tenor	2nd Tenor	Baritone	Bass
宮地 基次	刀根 亨一	中辻 浩一	木道 昇
阿部 昌弘	的野 恭一	和田 正義	田中 義信
高木 正志	福井 黙	鈴木 勸	靄 喜廣
中尾 武史	大石 宏	森山 剛	平田 大三郎
日高 良公	野辺 和馬	石川 和義	八尋 一雄
飛松 智明	徳永 和彦	篠崎 詔二	蓮尾 勝右
本山 和文	一柳 隆治	森 博彦	佐藤 忠芳
宮城 研二	下田 昭	佐藤 棟也	波多野 勝彦
天村 倫人	佐藤 宗一	松尾 淳郎	毛利 正明
坂部 雅夫	黒江 量二	山元 一憲	夏秋 毅昭
倉地 進	徳永 武雄	里中 健	武藤 新
大司 真	石松 茂	小西 真二	八尋 憲二
杉本 哲也	平塚 郁男	山下 博英	角 正信
	山本 武裕	中嶋 恒生	中垣 登
	高川 弘幸	梶原 博司	宮地 純
	今野 哲郎	伊徳 謰	福田 誠司
	窪田 敏博		
	眞銅 敬介		
	砥上 雅壽		

● 第4ステージ出演

◇西南学院グリークラブOB福岡在住◇	諸熊 敏明	山下 悅朗	藤 寿	岩崎 嘉範
◇西南学院グリークラブ現役◇		福地 浩貴		
◇西南学院グリークラブ東京OB会◇	木下 俊彦	田中 穂積	森 猛	樋口 一法
	村上 正道	吉瀬 哲也	川島 清	中野 裕之
	石丸 貴康		保家 大司	

小 史

西南シャントゥールは1954年(昭和29年)4月、西南学院グリークラブ54期のOBらが中心となり結成された。以来、西南学院卒業者のみのメンバーで構成されている。

シャントゥール[Chanteurs]という名称は、当時のアメリカ海軍の男声合唱団名の“*The Sea Chanters*”とフランスの男声合唱団名“*Companion de la Chanson*”を参考にし、フランス風に洒落て西南シャントゥール[Seinan Chanteurs]と命名された。

結成された当時は主に全日本合唱コンクールへの出場を目指し、3位入賞などの実績を残している。現在では、専ら年に一度の「定期演奏会」を活動の中心に置き、同時に又各地の合唱団とのジョイントコンサートやゲスト出演活動を続けている。現在全国的にみても、毎年定演を持つ貴重な一般男声合唱団として高く評価されている。

又、定期演奏会においては、委嘱作品の初演にも力を注ぎ注目されている。

《委嘱作品》

多田武彦作曲：男声合唱組曲「柳河風俗詩・第二」(1994)

男声合唱組曲「三崎のうた・第二」(1997)

男声合唱組曲「中也の雨衣」(2012)

吉田悠作編曲：日本の歌による男声合唱のためのメドレー「海へ山へ」(1996)・

男声合唱とハープのための「アイルランド民謡」(1997)

宇野正寛編曲：男声合唱曲「日本の歌メドレー」(2000)

大島ミチル作曲：男声合唱とピアノによる「生命の誕生」(2004)・

「悲しい歌はきらいですか」(NHK「御宿かわせみ」主題歌男声合唱版)

信長貴富編曲：「時代～ニューミュージックと呼ばれた歌たち～」(2007)

(社)全日本合唱連盟・福岡県合唱連盟・福岡音楽団体連絡会 会員

1年間の演奏活動

2012.12.8 西南シャントゥール第35回定期演奏会

12.23 福岡女学院「メサイア」コンサート出演

2013.1.27 総会

2.17 養巴幼稚園チャリティコンサート

6.1 西南学院学徒動員戦没者追悼記念式

6.2 福岡県合唱連盟福岡支部合唱祭(合同:第九)有志参加

6.29 東日本大震災復興支援チャリティコンサート

11.2 西南シャントゥール第36回定期演奏会

アクロス福岡シンフォニーホール

アクロス福岡シンフォニーホール

西南コミュニティ・センター

福岡中部教会

西南学院ドージャー記念博物館

アクロス福岡シンフォニーホール

西南学院大学チャペル

アクロス福岡シンフォニーホール



西南学院学徒動員戦没者追悼記念式

創立60周年記念事業に向かって

60周年記念事業実行委員会 特命委員 武 藤 新

1954年(昭和29年)。街には春日八郎の「お富さん」が流れ、映画館では「七人の侍」が上映され、テレビでは、「ジェスチャー」や力道山の活躍が流れていた時代に、数名の西南学院グリークラブのOBの発起で「西南シャントゥール」が誕生し、今日に至っては60名超の男声合唱団として活躍できるまでに成長致しました。

そして、来年2014年(平成26年)に創立60周年の節目を迎えることとなります。

これまで多くのハードルを乗り越え、永年にわたり様々な世代の卒業生がコーラスを媒体として一体化することにより、西南シャントゥールのハーモニーが創られてきました。これからも若い世代の卒業生諸君が企画参画されることにより、なお一層シャントゥールの発展の原動力となることをメンバー一同希望しております。

そして一つの節目である60周年を迎えるようになったのも、これまでのシャントゥール団員の努力とコミュニケーションにもよりますが、何よりも我々を支えて下さったのは、本日ご来場頂いた皆様、また今まで応援・協力して下さった、練習会場提供者、各音楽関係団体の皆様、そしてご家族やお友達の皆様のお陰でございます。

来年の創立60周年記念事業を迎えるにあたり、準備委員会もすでに活動を始めており、記念演奏会は西南シャントゥールに相応しく、フェスティバル色を排除した格調高い演奏を目指しております。これまでの成長の発表の場として聴衆の皆様に感動を与え、喜んでいただける演奏会になるように団員努力邁進したいと存じます。

是非、来年も皆様、お誘い合わせの上ご来場頂きます様、お待ち申し上げております。

予告

創立60周年記念
西南シャントゥール 第37回定期演奏会

客演指揮:須賀 敬一
ピアノ:木島美紗子

高田三郎/作曲
男声合唱組曲「水のいのち」
典礼聖歌集 他

2014年12月8日(土)

アクロス福岡シンフォニーホール

Petio 芯までおいしいから
最後までじっくり味わえる!

本部 〒105-0014 東京都港区芝1-10-11コスモ金杉橋ビル4F 商品本部 〒530-0028 大阪市北区万歳町3-25 ☎ 0120-133-035 <http://www.petio.com>

株式会社 山本文房堂

●本店/中央区大名2丁目4-32 〒810-0041 ☎ 092(751)4342

●アートスクール/中央区大名2丁目4-32 〒810-0041 ☎ 092(751)4342

*通信販売を承ります。お気軽におたずねください。

URL <http://www.yamabum.com> E-mail yamabum@anet.ne.jp

Happy Pet
貼って・吊して
消臭アロマディスク
DENTAL ROPE 国産
食べられる歯みがきロープ
PLAQUO ブラック+ホワイト ソフト
蚊にも効くサンスポット
・素早く広がる! •効果約1ヶ月
犬用 Sサイズ 18本入 Mサイズ 10本入
シッカリ 細めちょ
ノミ駆除 マダニ駆除 + 蚊忌避
ペットのニオイをスッキリ♪
大塚グループ
アース・バイオケミカル株式会社
Best Quality

きどう動物病院

KIDOU SMALL ANIMAL HOSPITAL

獣医師 木道 寛・木道浩子



福岡市城南区田島5-4-18

TEL 092-862-1222

Grain & Pet Care Communication

株式会社 森光商店

〒841-8611 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜9-7
PHONE. 0942-85-1125(代) FAX. 0942-83-8868

西南シャントゥールの皆様の益々のご活躍をお祈りいたします

不動産のことなら何でもご相談下さい

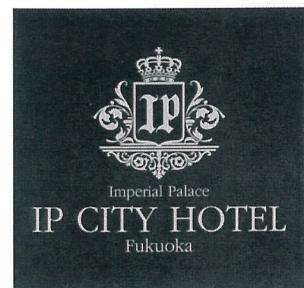
誠心誠意お手伝いさせて頂きます



日本野鳥の会会員

中垣不動産

福岡県知事(3)第14016号
〒818-0121 太宰府市青山3-27-2
電話 092-918-6487
<http://www.nakagaki-fudousan.com/>

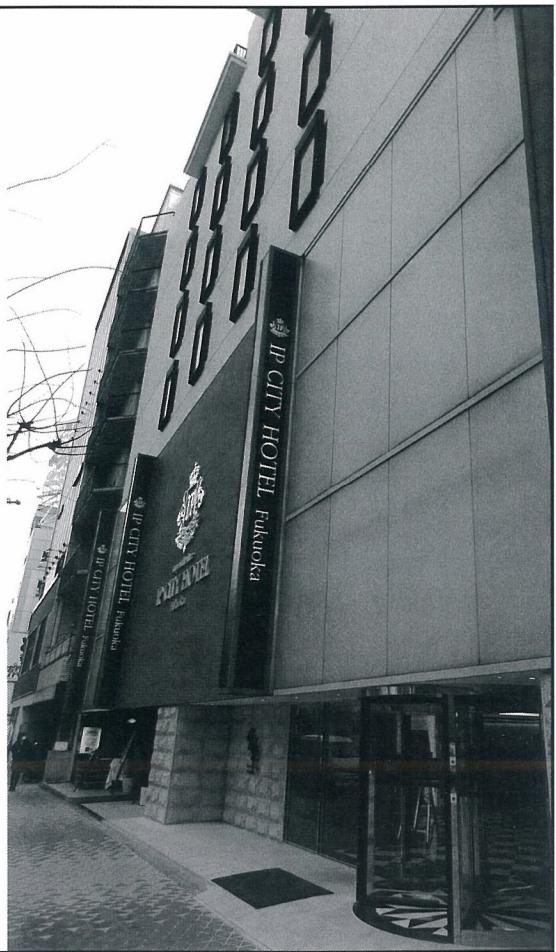


Familia
CAFE

福岡市営地下鉄中洲川端駅

②番出口より徒歩1分!

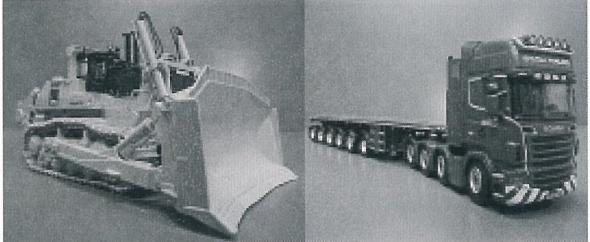
TEL092-262-2009



ミニチュアカーで楽しむ はたらくクルマの世界

はたらくクルマの魅力は、なんといっても、その重量感と力強さにあります。ミニチュアカーはその雰囲気を気軽に楽しめ、実際に持つてみるとズシリと重く、ハデさはないけれど実車に迫るリアルさが見逃せません。そこには子供を引き付けるだけでなく、本物志向の大を満足させるだけのクオリティと奥深さがあります。コレクティブな商品を扱う通販専門店の下記へお尋ねください。

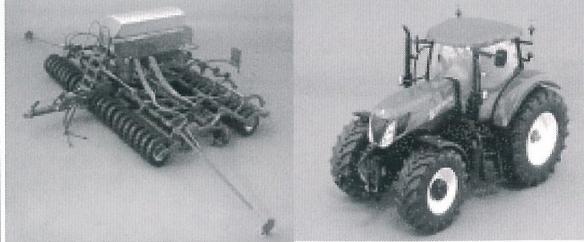
**クレーン・トラック・建設機械の
ミニチュアカー専門ショップ**



**Model Truck
Factory**

モデル トラック ファクトリー
<http://www.mt-factory.com>
 メール info@mt-factory.com
 〒818-0059 筑紫野市塔原東3-13-1
 tel 092-918-5615 fax 092-918-5610

**トラクターなど農業機械の
ミニチュアカー専門ショップ**



Farming Machine Miniatures/Boom Boom Garage
ブームブームガレージ

Boom Boom Garage
<http://www.bb-garage.com>
 メール info@bb-garage.com
 〒818-0137 太宰府市青葉台3-21-16
 tel 092-555-5816 fax 092-555-5817

Hail, Seinan

Alma O'Norean Graves
作曲：多田武彦

Seinan, our bastion of faith,
Vivid dream of a bygone year,
Crown'd with honor, love and truth,
'Be true to Christ' is our prayer.

西南、我らの信仰の砦、
過ぎ去りし年月が生き生きと甦るところ、
栄誉と愛と誠を戴いて、
「キリストに忠実なれ」これぞ我らの祈り。

Hail to our Alma Mater !
Lighthouse by the sea, radiant,
Gleams for her sons and daughters
With God's love, resplendent.

我らが母校に、栄光あれ！
海辺の灯台から放たれる光が、
学びし子女らへの微かな煌めきでも
神の愛もて、燐然と光り輝く。

Ah, Seinan, school of wisdom,
Whose fair halls ring with laughter,
Glow with knowledge and freedom,
Symbols of Divine favor !

ああ西南、叡智の学び舎、
その集いの場に、笑い声は響き、
知識と自由は輝きわたる、
神の恩寵のしるしなり。

Behold ! her banners fly high,
O'er students of purpose true,
United to live or to die,
Her emblems e'er to keep pure.

見よ！母校の旗印は高く舞い、
真理を求める学徒の上に、
母校の象徴は、生きる時も、
死の時も共にありて、永久に潔し。

(訳／鈴木 勸：62期)

1953年、現役の西南学院グリークラブのカレッジソング “Ah ! Seinan” は 石丸 寛 氏の作曲で完成した。1954年、西南シャントウール創立の時、「シャントウールにもテーマソングを」ということになり、再度、作詞を部長であった英文科教授のグレーヴス先生に依頼し、作詞された。しかし、その後作曲されないまま、一時シャントウールが活気を失っていた時期など、色々な事情により永い歳月が過ぎ去り、忘れられていた。1994年、多田武彦 氏(作曲家)との出会いにより、漸く完成を見ることになった。

なお、このエールは、1995年、当時会長であった徳永鱗之助氏の米寿の祝賀に対し、氏より西南シャントウールへ寄贈された。



since 1954